

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (9) 食の商談会ふくしまフードフェア 2017
農林中央金庫 福島支店 (福島県)

新規	継続
	○
	(平成 26 年 10 月)

1 動機(経緯)	本商談会は、東日本大震災からの復興に向けて、福島県産農林水産物およびそれらを原材料とした6次化商品等の販路拡大やPR、ならびに生産者とバイヤーの交流の場を提供する目的で、主催により、2014年から「オールふくしま」での取組みとして県、東邦銀行、JA全農福島、農林中金福島支店で共同開催しています。
2 概要	本商談会は、福島県の農林水産品から加工食品までが一堂に揃う県内最大規模の商談会です。 共催となって4回目の開催(平成29年10月)となる今年度は、過去最多となる187社が出展し、県内外・海外から約1,000人のバイヤーが来場しました。特に、出展者との個別商談に力を入れており、商品説明に加え、試飲や試食を通じて自慢の商品を効果的にPRしました。 また、開催にあたっては、事前セミナーを開催し、講師としてお招きしたNPO法人日本プロ農業総合支援機構の高田裕司氏による「商談会出展時におさえておきたいポイント～成約件数増加に向けて～」について講演を行い、商談会に向けての準備や心構え、商談会当日の成約率向上のポイントを解説しました。
3 成果(効果)	参加者は、「継続商談案件については、すぐに対応して商談に結び付けたい」「県内外、海外のバイヤーに商品PRできる場を提供いただいて大変ありがたい」と話しており、参加者の商談力のアップや販路拡大に貢献することができました。 商談形式は、出展者・バイヤーから事前に商談ニーズをヒアリングし、事前マッチングによる個別商談を実施し、1商談を20分として、過去最多となる500件が設定されました。当日の成約件数は90件、継続商談件数は661件となりました。
4 今後の予定	今後も、各種商談会等を通して、県内農林水産業の復興を後押しするとともに、販路拡大やPRを支援して参ります。

【商品をPRする出展者】



【商談会の様子】

